第3回

eco products awards
2006

エコプロダクツ大賞

2006.12.14

主催／エコプロダクツ大賞推進協議会　後援／財務省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省

http://www.gef.or.jp/ecoproducts/

持続可能な未来を見つめて

～エコプロダクツで社会を変える～

エコプロダクツが社会に広く受け入れられ、私たちの暮らしの中に深く浸透していくことは、社会経済活動を環境配慮型のものへと変革していく大きなきっかけの一つになります。このため持続可能な社会の実現をめざすわが国には、今後、エコプロダクツがさらに普及していくことが期待されています。またその中では、具体的に環境配慮が盛り込まれることはもちろん、独創性にあふれ、しかも事業者や消費者、投資家さらには市場関係者からも高い評価を受ける、エコプロダクツが求められています。

エコプロダクツ大賞推進協議会は、すぐれたエコプロダクツの表彰を通じて、エコプロダクツの普及に貢献したいと考えています。

目次

第3回 エコプロダクツ大賞について 2
審査委員長講評 4

エコプロダクツ大賞（関係省大臣賞）

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞 カートカン（紙製飲料缶） 5
経済産業大臣賞 ヒートポンプななめドラム 洗濯乾燥機（NA-VR1100） 6
国土交通大臣賞 高品質再生粗骨材「サイクライト」 7
環境大臣賞 自己放電抑制タイプの新型ニッケル水素電池「eneloop」 8

エコサービス部門

農林水産大臣賞 食品リサイクルパッケージシステム 9
経済産業大臣賞 循環型物流サービス「環境デリバリーパック」とリターナブル包装箱「イースターパックFXモデル」の提供 10
国土交通大臣賞 「えころじこんぽ」（ゼロエミッションを目指した引越） 11
環境大臣賞 大手町カフェ 12

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）

エコプロダクツ部門

グリーンプロマックス 13
液晶テレビ（LC-52GX1W） 13
マツダMPV（DISIターボエンジンを搭載した低排出ガス・低燃費車）（DBA-LY3P） 14
東洋ガラス超軽量一般びんシリーズ 14

エコサービス部門

「エコ定期預金」「リサイクル定期預金」を中心とした環境保護意識の高揚 15
ロジスティクスソリューション 15
国内初全世帯太陽光発電付き賃貸マンション「ニューガイア」 16

審査委員長特別賞（奨励賞）

エコプロダクツ部門

ビオポット Z 品番（biopot ZpacH・ZacH） 17
デコスドライ工法（セルロースファイバー断熱材）（JISA9523） 17
廃プラスチック建材「エコマウッド」デッキ（D-1） 18
保水機能付ベランダ用タイルデッキシステム材「バーセアMT シリーズ100」（AP10MT01UF） 18

第3回
エコプロダクツ大賞について

1 趣旨・目的

企業等による環境負荷の低減に配慮した製品またはサービス(エコプロダクツ)の開発・製品化への取り組みが広がる一方､エコプロダクツが社会に広く受け入れられ､私たちの生活の中に深く浸透していくことは、社会経済活動を環境配慮型のものへと変革していく大きなきっかけの一つになります。このため持続可能な社会の実現をめざすわが国においては、今後、具体的な環境配慮が盛り込まれていることはもちろん、独創性にあふれ、しかも事業者や消費者、投資家、市場関係者からも高い評価を受ける、すぐれたエコプロダクツがさらに普及していくことが期待されています。

「エコプロダクツ大賞」はこのような状況を背景に、すぐれたエコプロダクツを表彰することによって、それらに関する情報を需要者サイドに広く伝えるとともに、それらの供給者である企業等の取り組みを支援することで、わが国におけるエコプロダクツのさらなる開発・普及を図ることを目的に、2004年度に創設されたものです。

第1、2回大賞において大賞及び優秀賞を受賞した企業・団体においては、受賞によって受賞製品や企業・団体の知名度や認知度、ブランド価値が高まり、ほとんどの受賞者が受賞結果をパンフレット等に記載したり、広告や営業活動等に積極的に利用しており、本表彰制度がエコプロダクツの普及に大きな役割を果たしたことが明らかとなっています。

また第2回から、中小企業のエコプロダクツへの取り組みを奨励するために、審査委員長特別賞(奨励賞)が新設されています。

2 募集対象

日本国内において製品・サービスとしてすでに市場に提供されているエコプロダクツまたはエコサービスであって、需要者が容易に入手または利用可能なもの。また、一般消費者向けの製品・サービスはもちろん、B to Bも対象としました。なお、応募時点で市場に提供されていない製品・サービスも、2006年11月末までに提供開始することを条件に、特例として受け付けました。なお、過去のエコプロダクツ大賞において受賞したものと同一の製品・サービスは対象外としました。

3 表彰部門・賞の種類

① 表彰部門

「エコプロダクツ部門」

環境負荷の低減を目的に、さまざまな技術や手法等を活用するなどして開発され、日本国内市場において製品化(提供)されているもの。

「エコサービス部門」

わが国の社会経済を取り巻く環境問題に対して、環境負荷の低減を目的に提供されているサービス、あるいは持続可能なビジネスモデルを創出して環境負荷の低減を図っている新たな環境配慮型のサービスであって、日本市場に導入されているもの。

② 賞の種類

上記の二つの部門に対してそれぞれ、下記のエコプロダクツ大賞(関係省大臣賞)及びエコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)、審査委員長特別賞(奨励賞)が授与されます(該当がない場合もあります)。

●エコプロダクツ大賞(関係省大臣賞)

・財務大臣賞　＜賞状、副賞＞
・厚生労働大臣賞　＜賞状、副賞＞
・農林水産大臣賞　＜賞状、副賞＞
・経済産業大臣賞　＜賞状、副賞＞
・国土交通大臣賞　＜賞状、副賞＞
・環境大臣賞　＜賞状、副賞＞

●エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)〈賞状〉

●審査委員長特別賞(奨励賞)〈賞状〉

4 審査基準

審査は、下記の基本的考え方を踏まえた上、すぐれていると評価されるエコプロダクツを選考しました。

●当該エコプロダクツの導入による環境負荷の低減が明らかなものであること

●事業者や消費者、投資家、市場関係者等による一定の評価が得られているエコプロダクツであること

●利用しようとする者が、国内市場において容易に供給やサービスを受けられるエコプロダクツであること

●環境教育的効果が認められる等、持続可能な社会づくりへ向けた社会意識の向上に資するエコプロダクツであること

5 審査方法

応募案件は、予備選考を経た後、エコプロダクツ大賞推進協議会に設置した審査委員会において最終審査を行いました。

審査委員

委員長	石谷　　久	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
委　員	池田　秀文	経済産業省産業技術環境局環境調和産業推進室長
	甲斐　正彰	国土交通省総合政策局環境・海洋課長
	加藤　三郎	NPO法人環境文明21代表理事
	鎌形　浩史	環境省総合環境政策局環境経済課長
	小部　春美	国税庁課税部酒税課長
	末松　広行	農林水産省大臣官房環境政策課長
	武田　俊彦	厚生労働省医政局経済課長
	辰巳　菊子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会理事
	永松　惠一	日本経済団体連合会常務理事
	山本　良一	東京大学生産技術研究所教授

（委員長を除く氏名の五十音順）

6 応募状況・審査結果

エコプロダクツ大賞は、「エコプロダクツ部門」と「エコサービス部門」で構成されますが、今回の大賞には「エコプロダクツ部門」94件、「エコサービス部門」33件のあわせて127件の応募がありました。

エコプロダクツ大賞推進協議会内に設置された審査委員会（審査委員長：石谷　久／慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授）における審査の結果、もっともすぐれたエコプロダクツとして、エコプロダクツ部門において農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞の４件の大賞が、エコサービス部門において農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞の４件の大賞が、それぞれ決まりました。

また、大賞に次いですぐれたエコプロダクツとして、エコプロダクツ部門で4件、エコサービス部門で3件がエコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）に決まりました。さらに、中小企業からの応募案件を対象にした審査委員長特別賞（奨励賞）として、エコプロダクツ部門4件が表彰されることとなりました。

審査結果は右記の通りです。

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞

カートカン（紙製飲料缶）
森を育む紙製飲料容器普及協議会、凸版印刷株式会社

経済産業大臣賞

ヒートポンプななめドラム 洗濯乾燥機（NA-VR1100）
松下電器産業株式会社

国土交通大臣賞

高品質再生粗骨材「サイクライト」　株式会社竹中工務店

環境大臣賞

自己放電抑制タイプの新型ニッケル水素電池「eneloop」
三洋電機株式会社

（以上、大臣賞４件）

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）

グリーンプロマックス　旭化成パックス株式会社

液晶テレビ（LC-52GX1W）　シャープ株式会社

マツダMPV
（DISIターボエンジンを搭載した低排出ガス・低燃費車）（DBA-LY3P）
マツダ株式会社

東洋ガラス超軽量一般びんシリーズ　東洋ガラス株式会社

（以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件）

審査委員長特別賞（奨励賞）

ビオポット Z品番（biopot ZpacH・ZacH）　有限会社グリーンサポート

デコスドライ工法（セルロースファイバー断熱材）（JISA9523）
株式会社デコス

廃プラスチック建材「エコマウッド」デッキ（D-1）　株式会社エコマ商事

保水機能付ベランダ用タイルデッキシステム材
「バーセアMTシリーズ100」（AP10MT01UF）　東陶マテリア株式会社

（以上、審査委員長特別賞４件）

エコサービス部門

農林水産大臣賞

食品リサイクルパッケージシステム　京王電鉄株式会社

経済産業大臣賞

循環型物流サービス「環境デリバリーパック」と
リターナブル包装箱「イースターパックＦＸモデル」の提供
スターウェイ株式会社

国土交通大臣賞

「えころじこんぽ」
（ゼロエミッションを目指した引越）　日本通運株式会社

環境大臣賞

大手町カフェ　三菱地所株式会社

（以上、大臣賞４件）

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）

「エコ定期預金」「リサイクル定期預金」を中心とした環境保護意識の高揚
敦賀信用金庫

ロジスティクスソリューション　富士通株式会社

国内初全世帯太陽光発電付き賃貸マンション「ニューガイア」
芝浦特機株式会社

（以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞３件）

エコプロダクツ大賞審査委員会 審査委員長講評

審査委員長　石谷　久
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授

エコプロダクツ大賞もいよいよ3回目となり、欲を言えばさらに多数の応募がほしいと願うものであるが、ほぼ定常的数値に落ち着いてきた感がある。今回も多様な応募案件の中から、それぞれ特徴のある製品、サービスが多数選定された。今年度は、多様な特徴、効果を持つ製品、サービスが多くみられ、優秀な対象が必ずしも特定の大臣賞のみでなく他の大臣賞としても十分、通用するために審査委員会でもどの大臣賞に適当か多少のとまどいも見られた。結果としては、所掌する各省庁の同意を得てそれぞれ適当なところに落ち着いたものと信じている。例年のごとく、省エネ、CO_2削減に効果的、かつ廃棄物の削減を配慮した製品、サービスが受賞し、最近の世の中のニーズ、関心を反映したものと見られる。

大臣賞には製品部門で、バイオマスの有効利用に貢献する製紙飲料容器、ヒートポンプ洗濯乾燥機、高品質再生粗骨材、並びに高サイクル寿命のニッケル水素電池など、一般家庭になじみが多く、省エネ省資源、CO_2排出削減に貢献し、またゴミ削減、あるいはその有効利用を目指す製品が選ばれた。

またサービス部門では食品リサイクルパッケージシステム、循環型デリバリーサービス（古紙原料の再使用可能な物流梱包資材）、反復梱包資材・作業、都市緑化技術による都心での持続可能スペースの提供など、いわゆる環境配慮、ゴミ減量に通じるサービスにあわせて、都会において自然の大切さを伝えようというユニークなサービスも選定された。

中小企業を対象とした奨励賞では、特定の分野に特化しているが、やはり資源再利用、省エネにも貢献し、さらに作業の効率化を目指しながら環境面でも効果のあるといった製品も選ばれた。

本大賞も回を重ねるにつれてすでに受賞をうけた製品と同種、あるいはある程度同様な原理、技術による製品、サービスが顔を並べてきているが、毎回、新鮮さを与えるユニークな製品サービスも現れてきて、メーカー、事業者が環境改善を目指した製品設計、製造に努力している様子が伝わってくる。消費者にもこういった環境製品・サービスシステムが次々と現れ、提供されていることをよく伝えて、積極的にその普及を促進していく必要があり、本大賞がそういった環境製品の普及促進に多少とも貢献できることを望んでいる。

農林水産大臣賞

名称

カートカン（紙製飲料缶）

会社名・事業所名

森を育む紙製飲料容器普及協議会／凸版印刷株式会社

出品者アピール

今、日本の森林は荒れてる。森林は手入れをすれば循環可能な資源として将来にわたって再利用することが出来るが、安い外材に押されて国産の木材が利用されないため、「植える—育てる—収穫する—植える」という資源としての循環が行われていない。

一方、紙は木材から出来ている。このため、日本で植えられ、育った森林を木材（紙製品）として用いると、「植える—育てる—収穫する—植える」という循環が生き返る。紙製飲料缶「カートカン」は、他の紙飲料製品に先駆け、初めて、間伐材を含む日本の木材を30％以上使用。また、カートカンの売上金の一部は「緑の募金」に寄付しており、森林づくりに役立つとともに、地球温暖化防止にも寄与している。カートカンは、見た目は小さな飲料容器だが、街の中でも自然のエコを感じ、たった一人でも手軽に森林づくりに参加出来る、「森の循環型商品」である。

評価

国内の森林バイオマス資源の有効活用及びその普及を通じて、京都議定書目標達成計画やバイオマス・ニッポン総合戦略等の推進に大きく貢献している点を評価。

経済産業大臣賞

名称
ヒートポンプななめドラム　洗濯乾燥機（NA−VR1100）

会社名・事業所名
松下電器産業株式会社

出品者アピール
成熟商品といわれる洗濯機業界で、近年ライフスタイルの変化や住環境の変化などから洗濯乾燥機の需要が拡大している。NA-VR1100は、誰にでも使いやすい当社のななめドラム洗濯乾燥機の主力商品として、エアコンの技術を応用して独自に開発した小型ヒートポンプユニットを採用することにより、ヒータ乾燥方式と比較して大幅な省エネ・節水・スピード乾燥を実現した。本商品は、ヒートポンプ乾燥方式の2世代目であり、2005年モデルのNA-VR1000よりさらに省エネ性能を向上し運転時間を短縮した。6kgの衣類を洗濯・乾燥したときの消費電力量は1,450Whであり、当社従来のヒータ乾燥方式NA-V81に比べて64%削減される。使用水量は63Lで58%節水、所要時間は145分で52%短縮される。さらに、ヒータを使わない「除湿した風」による乾燥なので、衣類にやさしい仕上がりが実現できた。本質性能と環境との両立を実現し新たな洗濯文化を提案創造する商品である。

評価
独自開発のヒートポンプ乾燥方式による省エネルギー、節水タイプの洗濯乾燥機で、軽量化、ユニット交換容易化、リサイクル容易化、再生プラスチックスも使用するなど、総合的に優れている。消費者に分かり易い使用時の環境情報、製品情報の提示に努めるなど、エコプロダクツとして高く評価できる。

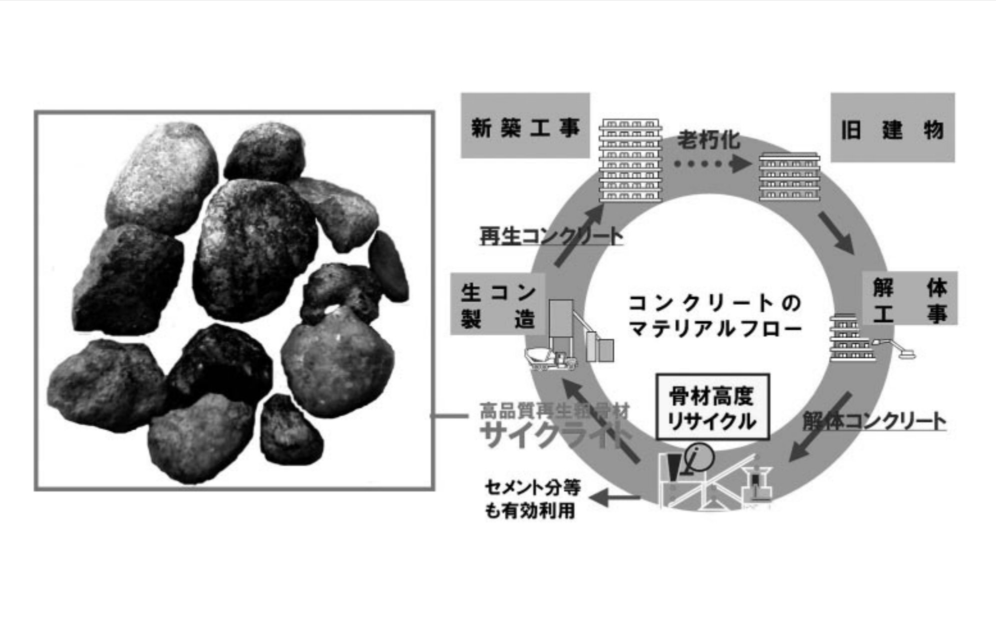
国土交通大臣賞

名称

高品質再生粗骨材「サイクライト」

会社名・事業所名

株式会社竹中工務店



出品者アピール

コンクリート塊は、建設廃棄物の約1/3を占め、年間3,500万tに達する。このリサイクル用途として発生量のほとんどが路盤材に利用されてきたが、今後路盤材の需要は減少することが予想されるため、コンクリート用の骨材として利用することが必要となる。しかし、従来の再生骨材では骨材表面にモルタルが固着した状態のため品質が低く、コンクリートに使用するとひびわれしやすく耐久性に劣るという問題があった。

本製品は、粗破砕したコンクリート塊を偏心ローター式の処理装置を用いてすりもみ処理することにより、骨材に付着したモルタルを効率的に除去したものであり、天然の骨材と同等の品質を有する。本製品をコンクリートに使用すると通常のコンクリートと同等の品質となるため、コンクリート塊を再びコンクリート用の骨材として用いる循環型の資源として活用することが可能となる。

すでに集合住宅やオフィスビルの建替工事で製品の提供を開始しており、多量の資源消費を伴う建設工事において、従来の砕石とほぼ同等のコストで提供できる環境負荷低減製品として活用されている。

評価

高品質再生粗骨材「サイクライト」は、建設廃棄物であるコンクリート塊をリサイクルした製品である。従来の再生骨材は品質が低く、耐久性に劣っていたが、「サイクライト」は、製造技術の向上により、構造用のコンクリートに用いられる天然骨材と同等の品質が確保された。今後コンクリート廃材の余剰が予想されている中で、本製品の普及により、コンクリート塊のリサイクル率の向上が図られるほか、コンクリート用鉱物資源消費量も削減が可能である点を評価した。また、施工実績としては、昨年度に新丸の内ビルディング（東京都千代田区）建設工事において、解体前の旧ビルで発生したコンクリート塊から「サイクライト」を再生、新躯体で大規模に使用しており、相当規模の建設工事においても適用が可能であることが実証され、建設工事のゼロエミッション化にも資する取り組みであるという点についても評価した。

環境大臣賞

名称

自己放電抑制タイプの新型ニッケル水素電池「eneloop」

会社名・事業所名

三洋電機株式会社

出品者アピール

本製品は、当社独自技術により、「自己放電」（充電状態での放置により蓄えられたエネルギーが徐々に減っていく自然放電現象）を抑制した、乾電池互換タイプのニッケル水素電池である。自然放電抑制により、充電状態での販売、充電後の長期保管が可能となり、「買ってすぐ使え、いつでも使え、繰返し使える」乾電池と充電池の良さを併せ持つ、業界初の新型電池として発売を開始した。

発売以降、メディア紹介300件以上（2006年11月25日現在。当社調べ）、多数の個人ブログ紹介（“eneloop”のGoogle検索ヒット数：約1,250,000件 2006年11月25日現在。当社調べ）など、市場認知・理解度は着実に高まり、充電池国内市場は対前年比120%（GfKジャパンデータより）と大きく成長している。

本製品は、乾電池以上の使い勝手を消費者に提供することで、国内年間販売数量が約22億本（2005年 経済産業省機械統計より）である乾電池からの置換えを推進し、“使いきり社会”から“循環型社会”への変革による省資源化に貢献するものである。

評価

乾電池と充電池の特徴を併せ持つ、自己放電を抑制した乾電池互換タイプのニッケル水素電池。従来の乾電池と同様の汎用性を持ち、約1,000回の繰返し使用も可能。さらに、充電池の特徴を持つことで、使用後もリサイクルの対象となる。日本国内では年間22億本の乾電池が販売されているが、仮に全ての乾電池がこの製品に置き換わった場合、電池製造に伴う資源使用量が約5万トンから約28トンまで低減できると試算されており、省資源化をはじめ環境負荷の削減に大きく貢献する。

また、販売量を上げることが目標であるはずのメーカーが、自らこれまでの“使いきり社会”から脱却、“循環型社会”への変革を提案している企業姿勢も評価できる。

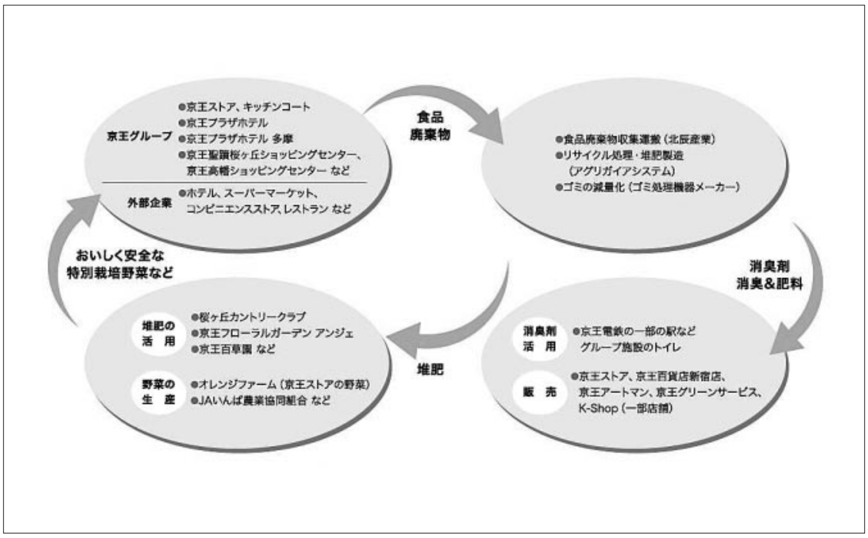
農林水産大臣賞

名称

食品リサイクルパッケージシステム

会社名・事業所名

京王電鉄株式会社



出品者アピール

従来、食品廃棄物排出事業者が食品リサイクルを行う場合、収集リサイクル業者、機器メーカー等個別の対応であった。また生成物の堆肥の受け口の心配やシステム構築に労力と時間が必要であった。そこで当社がトータルコーディネートの役割を果たし上記の問題を解決。ユーザーの食品廃棄物を冷蔵車で千葉県八街市の資本提携企業「株式会社アグリガイアシステム」リサイクル工場に搬入。そこから生成物の有機堆肥やバイオ消臭剤「消臭＆肥料」を商品化。一方、堆肥を使用した特別栽培野菜を契約農家で作り、スーパーの青果売場で販売したり、ホテルレストランの料理の食材として提供。グループ内では京王ストア、京王プラザホテルで実施している。現在、アグリガイアシステムと協力して外部企業のホテル、量販店、学校等へ参加の呼びかけを行い、この完全循環型の環(わ)を拡充しており、食品リサイクルのスタンダードモデルと持続可能な社会を目指し活動している。

評価

ユーザーから排出された食品廃棄物を堆肥化し、堆肥を使用した野菜を生産する食品の循環型リサイクルシステムを実践されており、現在、農林水産省の政策として推進している方向と合致している点を評価。

経済産業大臣賞

名称

循環型物流サービス「環境デリバリーパック」とリターナブル包装箱「イースターパックＦＸモデル」の提供

会社名・事業所名

スターウェイ株式会社

出品者アピール

当社では、100回以上繰り返し使える「イースターパックFXモデル」を開発し、富士ゼロックスの全国500拠点に対する補修用部品供給輸送への活用と、空箱回収物流を統合的に提供する「環境デリバリーパック」サービスを開始した。この製品の特長は、コンパクトに折り畳める点にある。元の箱に14枚を収納することで回収時の容積を1/15に圧縮することに成功した（富士ゼロックスと特許共同出願中）。さらにRFID（電波方式認識）を活用したトレーサビリティシステムを導入し、回収率の向上、確実な回転を促進している。今回のサービス導入で、富士ゼロックスでは梱包材に投入していた紙資源及び副資源（緩衝材・テープ等）を2010年までの累計で1,290t、CO_2排出量を658t削減でき、包材購入コストも55%削減することが可能になった。

「環境デリバリーパック」は経済と環境を両立させた21世紀の循環型物流システムである。

評価

古紙を原料として繰り返し使用可能な物流梱包資材を開発し、廃棄物削減、製造エネルギー削減などの環境・物流改善に大きく寄与している。使用後も繰り返し同素材へのリサイクルが可能で、今後の新しい物流サービスのモデルにもなり、エコサービスとして大変すぐれている。

国土交通大臣賞

名称

「えころじこんぽ」（ゼロエミッションを目指した引越）

会社名・事業所名

日本通運株式会社

出品者アピール

「えころじこんぽ」は、当社が独自に開発した反復梱包資材および独自の作業方法によって、ゴミを出さない引越を可能とした。

従来型の引越は、1件当たり約70kgの廃棄物、93kgのCO_2を発生させているが、すべて「えころじこんぽ」仕様の場合には廃棄物ゼロ、CO_2は20kgとなり、従来の引越と比較すると、廃棄物で約70kg、CO_2で73kg（LCA算出方式）の削減が可能となる。

また、反復梱包資材を使用することでコストダウンが図れ、従来の引越に比べ割安な料金の提供が可能となった。

2005年度の実績をすべて「えころじこんぽ」に換算すれば、年間約2,400t－CO_2（約3.3万件）削減となり、森林保全効果（CO_2の吸収量）に置き換えると約17万本の杉の木に相当する。

お客様のご要望に応じて、「ゴミを出さない」引越が可能なのは、日本通運株式会社の「えころじこんぽ」だけである。

評価

「えころじこんぽ」は、日本通運株式会社が独自に開発した反復梱包資材と作業方法でゴミを一切出さない引越である。反復梱包資材を繰り返し使い、資材老朽化後も熱源再生資源としてリサイクルできることから、梱包資材の生産過程及び使用済資材の処分の際に発生していたCO_2の量を大幅に削減することを可能とし、環境負荷の低減及び省資源に大きく貢献していると評価した。さらに、反復梱包資材を使った当日完結型引越というサービスであることから、引越作業の前後に生じる梱包資材等の配達・回収のための車両の運行をゼロにしたことも環境負荷の軽減として評価した。

環境大臣賞

名称
大手町カフェ

会社名・事業所名
三菱地所株式会社

出品者アピール

大手町カフェは、都市緑化技術を応用した心地よい屋内庭園を持つ集客施設であると同時に、大手町・丸の内・有楽町地区の持続可能な都市づくりを推進する、環境共生技術や人材を集積し、産学官民の連携を促す、新たなネットワーク形成の場である。ヒートアイランド対策やCO_2削減、資源や水の循環のありようなど、地球環境問題を参加者が身近な課題として感じることができる「地球大学セミナー」や啓発イベントを定期開催している。また、地域のNPOによる生活文化や歴史、芸術、音楽などを通じたLOHASをテーマとしたコミュニティ活動により、利用者の参加のすそ野を拡げている。さらに、企業の環境技術やCSR活動を、魅力的な展示・イベントと併せて発信する情報交流拠点としても機能している。空間デザインにおいては、旧新丸ビルの基礎に使われていた松杭、コンクリート骨材や大理石など、再開発由来のリサイクル・エコ素材を徹底活用し、利用者の「気づき」を促す仕掛けをふんだんに盛り込んでいる。

評価

大手町カフェは屋上緑化など都市緑化技術を応用した屋内庭園を持つコミュニケーションスペースである。東京の中心の大規模建築物が林立するオフィス街に、持続可能な都市づくりの必要性をうったえるために環境の大切さ、緑豊かな空間のありがたさを演出する施設を誕生させたことは評価できる。カフェでは、生産者の顔の見える食材を使用し、身体にやさしい料理を提供し、展示・セミナースペースでは環境に関する展示やセミナーを開催し、環境技術や研究、環境情報のプレゼンテーションの場としても有効である。カフェ内には都市型のバイオマスエネルギー装置「亜臨界プラント」の模型がオブジェとして展示され、来場者の興味を引く。コンシェルジュと呼ばれる総合案内員が常駐し、興味を持った来場者への解説が聞けるのも楽しい。

名称 グリーンプロマックス

会社名・事業所名 旭化成パックス株式会社

出品者アピール　本製品はバイオマス生分解性プラスチック（ポリ乳酸樹脂）製の冷飲料専用容器（コップ）
本製品の特徴は以下の通り。
①植物由来原料100％（石油資源の節約、石油由来原料プラスチックと比べ、CO_2発生量の削減に貢献）
②優れた生分解性を有する（コンポスト化）
③バイオマス素材でありながら、透明性を有し、冷飲料コップに最適
④高い安全衛生性を有する（原料は米国ネイチャーワークス社　原料、製品ともに食品370号試験に適合、ポリ衛協確認証明も取得済）
⑤当社独自成形プロセス（プロマックスプロセス）使用のため、通常のシート成形より20%エネルギー効率が良い
⑥現在4サイズの在庫を有し、1ケースから即出荷可能。また、国内自社工場にて生産のため、各種受注生産へも対応可能
⑦愛知万博や各種イベントでのご採用実績あり。最近では大手ファーストフード様にてもご採用いただき、使用場面が広がりつつある
本製品のリサイクルに関しても、各種実証実験が実施されている。本製品が今後のさらなるバイオマス素材容器拡大の推進役の一つとなれればと強く願っており、PR活動を続けている。

評価　本製品はバイオマスプラスチック（ポリ乳酸）でできており、独自の成形技術で小ロットで生産可能なこと、かつ成型時の使用エネルギーが低いなど、優れた特性がある。また、愛知万博のフードコート等のワンウェー食器として採用された実績等、バイオマスプラスチックの認知度向上への大きく貢献している点を評価。

名称 液晶テレビ（LC-52GX1W）

会社名・事業所名 シャープ株式会社

出品者アピール　21世紀を迎え、アナログからデジタルへ放送インフラが急速にシフトする中、デジタル映像と親和性の高い大型フルハイビジョン液晶テレビに対するニーズが一段と高まっている。液晶テレビは、高精細で美しい映像が楽しめるだけでなく、大画面でも薄型で軽く、省エネ・省資源・長寿命を特長とする環境負荷の低いテレビである。
本機は、液晶テレビならではの省エネ・省資源・長寿命という基本特性をさらに強化するとともに、グリーン材料の採用や廃棄時におけるリサイクル性の配慮に至るまで、環境配慮設計を徹底している。生産においても、最先端の環境保全システムを装備した亀山工場で、液晶パネルの製造からテレビの組み立てに至るまで一貫生産しており、設計・生産・使用・廃棄の全ての段階にわたり、環境負荷の低減をはかっている。

評価　薄型軽量設計、省資源、再生材の活用、使用時の省エネルギーを実現、締結した状態での解体処理ができる素材を採用するなど、生産から廃棄に至るまでの総合的な環境配慮型製品であり、積極的な環境情報開示にも努めるなど、エコプロダクツとして優秀と認められる。

名称 マツダMPV（DISIターボエンジンを搭載した低排出ガス・低燃費車）(DBA-LY3P)

会社名・事業所名 **マツダ株式会社**

出品者アピール 2006年2月に発売されたマツダの新型MPVは、専用にチューニングされたMZR 2.3L DISI*1ターボエンジンを搭載したことで、クリーンな排出ガス、低燃費など優れた環境性能と、かつてないパフォーマンスフィールを高次元で両立している。

新型MPVに搭載したDISIターボエンジンは、国内のターボエンジンで初めてSU-LEV認定を取得した直噴エンジンを基に開発しており、FF車の燃費性能は「平成22年度燃費基準＋10％」を達成し、グリーン税制（低公害車優遇税制）による優遇措置の対象車となっている。

しかも、排気量2.3Lのエンジンでありながら3.5Lクラスのパワーと加速が体感できる。

*1：DISIとはDirect Injection Spark Ignitionの略

評価 DISIターボエンジンは、国内ターボエンジンで初めてSU-LEV認定（Super Ultra Low Emission Vehicle:平成17年基準排出ガス75％低減レベル）を取得し、さらに改良したエンジンを搭載した「マツダＭＰＶ」（前輪駆動）の燃費性能は「平成22年度燃費基準＋10％」を達成し、自動車グリーン税制の対象となっている。2.3Lエンジンでありながら3.5Lクラスのパワーと加速を有しながら環境に配慮された車であるとされている点を評価した。さらに製造工程でも、消費電力や切削によって出る廃液の処理量を大幅に削減しているほか、リサイクル可能率も高く、生産においても環境負荷低減に寄与していることを評価した。

名称 東洋ガラス超軽量一般びんシリーズ

会社名・事業所名 **東洋ガラス株式会社**

出品者アピール 東洋ガラス超軽量一般びんシリーズは、循環型社会に必要な3Rのうち最優先のReduce（発生抑制）をガラスびんで具現化している。飲料、牛乳、酒類、調味料、食料分野に対応した全製品は、ガラス使用量を極限まで抑えた世界最高の軽量度の「超軽量びん」（日本ガラスびん協会が定義する最も軽量度が高いガラスびん）である。当該シリーズは、省資源、省エネルギー容器であると同時に、CO^2排出量削減など環境保全に大きく貢献する。このため、2003年にエコマーク認定（認定番号：第03124007号）を受けている。さらに樹脂コーティング仕様製品ではReuse（再使用）が可能であり、従来びんの使用回数（約30回）から60回以上に長寿命化した。

また、従来びんと比較し最大約40％の軽量化した当該シリーズを用いた商品は、ケース単位での荷扱いが容易となり流通に携わるすべての方々の負担を軽減することも高く評価されている。

評価 ガラスびんの超軽量化、長寿命化を図った一般びんシリーズ。

消費者の日々の生活に密着した牛乳、酒類、調味料等のガラスびんの従来重量を46％軽量化しながら、樹脂コーティングを施すことで従来30回程度のリユースから60回以上に長寿命化を図っている。

軽量化による原材料の削減、高い再利用回数、使用後のリサイクル等、3Rの観点から評価できる。

名称　「エコ定期預金」「リサイクル定期預金」を中心とした環境保護意識の高揚

会社名・事業所名　敦賀信用金庫

出品者アピール　地域金融機関である信用金庫として、お客様自らの参加・行動を促し、その結果・成果により金利等のメリットを提供できる、お客様と一体となった金融商品を中心としたサービスの提供。

主要営業エリアの自治体で、可燃ゴミ減少量に応じて金利を上乗せする「エコ定期預金」、資源ゴミ増加量に応じて金利を上乗せする「リサイクル定期預金」を発売。ご契約者等に買物袋を進呈しレジ袋を貰わないマイバッグ運動の実践によるゴミの減量化、また資源ゴミ回収袋を進呈しリサイクルの推進を実践。

預金の勧誘と同時に、ゴミの減量化・リサイクルをPRし、お客様自らが環境保護に参加・行動することで、金利のメリットを享受できる預金商品は全国でも初めて。また、地域の環境問題が一番身近であるため、主要営業エリアの自治体のゴミの量およびリサイクルの量を金利の上乗せ基準にすることにより、より一層環境問題に対するインセンティブが得られた。

評価　廃棄物削減が金利と連動した「エコ定期預金」「リサイクル定期預金」の提供により、消費者（預金者）にインセンティブを与え、地域社会と結びついた廃棄物削減リサイクル運動を実施するなど、環境保護の意識を高め、地域活性化にもつながり、エコサービスとして優秀と認められる。

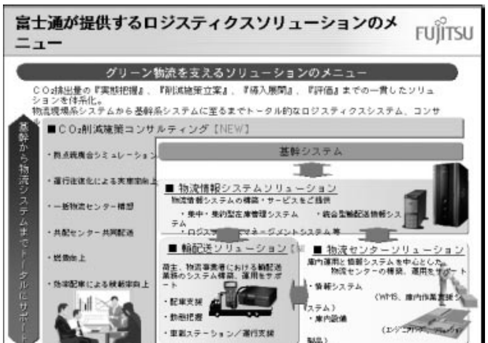
名称　ロジスティクスソリューション

会社名・事業所名　富士通株式会社

出品者アピール　富士通のロジスティクスソリューションを『環境』の観点で強化・拡充させ、CO_2排出量の取得から削減に至る一貫したソリューションとして提供。

本サービスは、CO_2削減施策コンサルティング、輸配送ソリューション、物流センターソリューション、物流情報システムソリューションから構成される。倉庫から輸送領域まで横断的なCO_2削減施策の立案をはじめとし、車載ステーションやGPS等のIT を活用した実態把握、配送ルートの最適化による輸配送業務の改善など、物流分野における環境負荷低減を総合的に支援する。たとえば、車載ステーション導入では平均約7％の燃費向上、配送計画では5～15％の減車などの実績があり、CO_2排出量削減に大きく寄与する。

新規開発のCO_2排出量計算システムでは関係機関への報告資料作成を自動化するなど、業務の効率化も実現し、環境経営、ひいては企業競争力向上に寄与する。



評価　「ロジスティクスソリューション」は、CO_2削減施策コンサルティング、輸配送ソリューション、物流センターソリューション、物流情報システムソリューションから構成される、事業者の物流システムにおける環境負荷低減を総合的に支援するサービスである。配送ルートの最適化による輸配送業務の改善、運転を感知してドライバーに音声警告による燃費の向上や安全運転、車載ステーションの導入による燃費の向上、配送計画による減車、CO_2排出量計算システムによる資料作成の自動化など、物流分野において、ITを活用して総合的に環境負荷低減に貢献していることを評価した。

名称 **国内初全世帯太陽光発電付き賃貸マンション「ニューガイア」**

会社名・事業所名 **芝浦特機株式会社**

出品者アピール 賃貸型マンションの全入居者が電力会社と太陽光発電余剰電力需給契約を交わし、売電の恩恵を受けることが出来る国内初のシステム。入居者は金銭面においてメリットを受けるだけでなく、子供からお年寄りまで環境保全活動に自動的に参加できる。新エネルギー機器と省エネルギー機器の組み合わせにより、ガス併用の通常のマンションに比べ、光熱費を75％削減することにも成功。また、集合住宅の屋上面の有効活用として太陽光発電システムを導入することは、最上階の天井裏温度を下げる、塗装の劣化を防ぐなど建物自体を保護する役目も果たし、機能と景観の共生をも実現した。同タイプのマンションはすでに4棟目を建設中であり、他社との連携により、分譲マンションでも同システムを導入して建設中。

評価 自然エネルギーの利用と備え付けの空調機や食器洗い乾燥機等を省エネルギー機器にすることにより、ガス併用の通常マンションに比べ光熱費を最大約78％削減できることは評価できる。また、余剰電力は電力会社に売却でき、入居者の新エネルギーへの関心と節電意識の高まりが期待できる。賃貸のため、入居者の入れ替わりにより自然エネルギー体験者が増加し、提供側と利用者双方のWin-Winを実現したこれからのビジネスモデルとして期待できる。

名称 ビオポットＺ品番（biopot ZpacH･ZacH）

会社名・事業所名 有限会社グリーンサポート

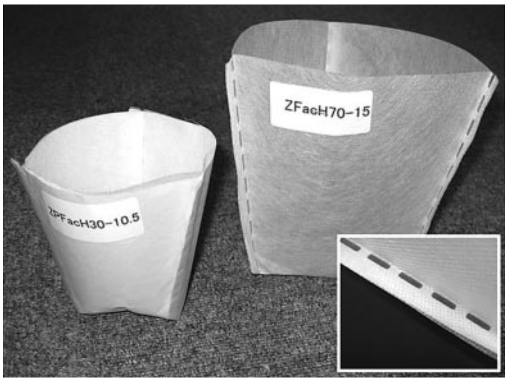
出品者アピール 弊社は1999年から植木生産用資材としてポリエステル製不織布製容器の製造販売を行ってきた。その後環境問題を考慮したバイオマスプラスチックに着目し、生産及び消費現場でのゼロエミッションを目的として製品化したのがビオポット（biopot）Ｚ品番である。このポットの特徴としては

①地中で分解するため、育苗後の植え替え時、容器の剥離作業が不要で省力化できる
②容器剥離が不要のため、根を傷めない
③ZP品番は二重構造のため、土入れ時の作業性に優れている
④ZP品番は目付の薄いものでの容器使用が可能となり、目付を下げることで価格低減が可能
⑤溶着した容器は低木類等を地上にて栽培し、植栽後、容器の劣化や分解が進行していなくても隙間から出根し、成長の障害にならない

等が上げられる。

生産樹木の出荷時にバイオマスマーク認定製品タグを付けて販売することで、バイオマスプラスチック製品の認知と広がりを進めたい。

評価 本製品を使用することにより、作業の省力化と廃棄物の発生を抑える効果があること、並びにバイオマス利活用推進に貢献している点を評価。



名称 デコスドライ工法（セルロースファイバー断熱材）（JISA9523）

会社名・事業所名 株式会社デコス

出品者アピール 住宅の温室効果ガスの排出量削減が政府目標にもなっており、それには断熱材の貢献が欠かせないところである。断熱材には石油系・鉱物系・自然素材系があるが、その中でもデコスファイバーは製造時・使用時・廃棄時の環境負荷が最も小さい。

新聞古紙を粉砕→繊維化する簡単工程なので、製造時のエネルギー負荷も小さい。性能面では高い断熱・防音性能に加え、木材の繊維を持つ自然系素材ならではの調湿性能がある。この調湿作用は土壁のように日本の高温多湿な気候に適したもので、夏でも通風次第でエアコンなしでの生活が可能となる。また、壁体内の作業は再施工ができないため、施工精度を完全責任施工体制で保証する。保証の内容は次世代の省エネ基準クリアと20年間の壁体内無結露。コストは約80万円／棟だが、旧断熱基準と比較すると年間暖房費を灯油量に換算した省エネ効果は平均20％に上り、経済的なメリットも高い。廃棄時には再利用も可能である。

評価 新聞古紙を再利用して作られたセルロースファイバーを断熱材として利用する乾式吹き込み工法で、断熱、防音、調湿性能をもち、製造時のエネルギーが少なく、リサイクルもできるなど、エコプロダクツとして大いに評価できる。

名称 廃プラスチック建材「エコマウッド」デッキ (D-1)

会社名・事業所名 株式会社エコマ商事

出品者アピール 当社は廃プラスチックリサイクル製品の研究・用途開発と販売を目的に設立したリサイクルベンチャー企業で「景観とリサイクルの共生」が当社のキーワード。当社の製品の原材料は廃棄されたプラスチックのうち、車のバンパー、家電製品のカバー、プラスチックコンテナ、PETボトルのキャップ等に使われているポリプロピレン(PP)と一部ポリエチレン(PE)である。

その材料から押出成型で出来た100％リサイクル素材の特性、腐らず、木肌の温もりがあり、大工道具で簡単に加工が出来ることから、外国から輸入する硬くて腐りづらい木材の代替デッキとして、学校、保育園、老健施設やリゾートホテルのテラス、個人住宅のベランダまで、幅広く活用の場が全国に広がって来ている。

そして不要になった場合も再リサイクルが出来る製品であり、資源循環型社会形成に貢献できる。

評価 「エコマウッド」は、100％リサイクル素材の廃プラスチック建材であり、循環型社会の形成に資するものである。耐久性、耐候性にもすぐれ、加工も簡単である。中でも「デッキ」は、17年度において重量にして約100ｔ、約40ヵ所の施工実績を有している。施工箇所も公園や公共施設、学校等多岐にわたり、多くの方々が本製品に身近にふれることが出来るという点を評価した。

名称 保水機能付ベランダ用タイルデッキシステム材「バーセアMTシリーズ100」(AP10MT01UF)

会社名・事業所名 東陶マテリア株式会社

出品者アピール 本商品は、ベランダやバルコニーに敷いて使用するタイルデッキシステム材である。面倒な工事が不要で、お客様自身が簡単な施工でベランダやバルコニーを美しく変身させることができる。また、住宅バルコニー部での使用により、様々な面での環境負荷低減が期待できる。

近年は地球温暖化や都市部のヒートアイランド化などの熱的環境問題が深刻になっており、「打ち水大作戦」のように省エネルギーかつ簡易的な手段で夏を涼しく過ごすことにお客様の関心が集まっている。本商品はこの打ち水効果の原理を利用したものであり、熱的環境問題改善に寄与する可能性がある。タイルの内部は保水が可能な構造となっており、本商品の表面に散水を行うことで、気化熱により床面温度を下げ、日中の空調負荷を低減し、消費電力の削減につながる。

また、原料には産業廃棄物が50％以上使用されており、タイル本来の原料である天然鉱石類の枯渇を抑制することができる。

評価 消費者が自ら購入、簡単に設置できるバルコニー、テラス用タイル。設置が簡易であることに加え、通常のタイル施工に必要なモルタルや接着剤が不要である。これに打ち水することで、気化熱により夏場の日中で床表面温度が約12℃低下、日中の反射熱、夜間の輻射熱を軽減することができ、空調負荷を低減して消費電力が削減できることが、評価の対象となった。

第１回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞
国産材合板(杉工房・松工房)　セイホク株式会社

経済産業大臣賞
プリウス(DAA－NHW20)　トヨタ自動車株式会社

国土交通大臣賞
難燃化リサイクル吹付断熱材
セラミライトエコ　セラミライトエコＧ　株式会社大林組

環境大臣賞
エレクトリックコミューターPassol(SY01J)　ヤマハ発動機株式会社

(以上、大臣賞４件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

キリン軽量大びん	キリンビール株式会社
高カロリー輸液用　総合ビタミン・糖・アミノ酸・電解質液　フルカリック	田辺製薬株式会社 テルモ株式会社
軽量電動車椅子(TAO　LIGHT Ⅱ)	アイシン精機株式会社
つみきハウス	株式会社つみきハウス
再生型枠「NFボード」	JFEスチール株式会社
環境配慮型照明器具 タイマーセルコン *SmartLighting* Eco(FSA42666F　PF9)	松下電工株式会社
燃費マネージャー(FCM-2000)	株式会社テクトム
フォトロード工法(光触媒舗装)	株式会社フジタ 太平洋セメント株式会社 石原産業株式会社　フジタ道路株式会社
フローピア「魔法びん浴槽」シリーズ(KQQ1717/1721　P/X)	東陶機器株式会社
家庭用ガスエンジンコージェネレーションシステム　エコウィル(ECOWILL)	大阪ガス株式会社　東邦ガス株式会社 西部ガス株式会社　本田技研工業株式会社 株式会社ノーリツ　株式会社長府製作所

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞10件)

エコサービス部門

農林水産大臣賞
菜の花プロジェクト　菜の花プロジェクトネットワーク

経済産業大臣賞
製鉄インフラを活用した廃タイヤのリサイクル　新日本製鐵株式会社広畑製鐵所／関西タイヤリサイクル株式会社

国土交通大臣賞
モーダルシフトの推進
スーパーレールカーゴ　佐川急便株式会社／日本貨物鉄道株式会社

環境大臣賞
あかり安心サービス　松下電器産業株式会社電材営業本部／カスタマークリエイトセンター

(以上、大臣賞４件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

外食チェーンとのアライアンスによる統一リサイクルシステム	ワタミエコロジー株式会社
HDRIVE(日立モータドライブ省エネサービス)	株式会社日立製作所
廃蛍光灯リサイクル処理事業	株式会社神鋼環境ソリューション
エコドライブ2000システム	株式会社エコ・クリーチャーズ エコドライブ事業部
底泥置換覆砂工法	大成建設株式会社
「環境配慮型経営促進事業」融資制度	日本政策投資銀行

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞６件)

第２回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

経済産業大臣賞
高出力一体形自然冷媒(CO2)ヒートポンプ給湯機(RHK-23TBA)
日立ホーム＆ライフソリューション株式会社

国土交通大臣賞
再築システムの家(URU)　積水化学工業株式会社

環境大臣賞
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム
「ライフエル」　東京ガス株式会社／株式会社荏原製作所／松下電器産業株式会社

(以上大臣賞３件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

家庭用ルームエアコン(MSZ-Z40RS・MSZ-ZXV40RS)	三菱電機株式会社
インクジェット複合機(PIXUS MP500)	キヤノン株式会社
サンドウェーブＧ	ガラスリソーシング株式会社
洗濯乾燥機「ビートウォッシュ」(BW-DV9F)	日立ホーム＆ライフソリューション株式会社

(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞４件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

ベバスト　エアヒーター(Air Top 2000S)	ベバストジャパン株式会社
エコブロワー(eb-C100-01)	株式会社メジャー化学
レイスタープロテックス	株式会社アルケー企画

(以上、審査委員長特別賞３件)

エコサービス部門

経済産業大臣賞
茶殻リサイクルシステム　株式会社伊藤園

経済産業大臣賞
ESCO事業(日立エネルギーソリューション)
株式会社日立製作所 エネルギーソリューションサービス推進本部

国土交通大臣賞
みまもりくん　いすゞ自動車株式会社

環境大臣賞
「環境銀行」環境配慮金融商品の提供　株式会社びわこ銀行

(以上大臣賞４件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

オフセットインキ缶リサイクルシステム「東洋MPエコサイクル(TME)システム」	東洋インキ製造株式会社
天然ガス自動車の大量導入によるグリーン配送	佐川急便株式会社
NECリフレッシュPC事業	NECパーソナルプロダクツ株式会社
業界プラットフォーム事業(共同物流)	株式会社日立物流

以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞４件)

審査委員長特別賞(奨励賞))

カーシェアリング・サービス	シーイーブイシェアリング株式会社
製品及び産業廃棄物の記歴管理システム	株式会社アイユー

(以上、審査委員長特別賞２件)

エコプロダクツ大賞推進協議会とは

「エコプロダクツ大賞推進協議会」は、環境負荷の低減に配慮した製品・サービス（いわゆるエコプロダクツ）をさらにわが国に普及させるため、具体的にすぐれた環境配慮が組み込まれるとともに、独創性にあふれ、しかも社会的にも評価の高いエコプロダクツを表彰する「エコプロダクツ大賞」の実施などを通じて、わが国におけるエコプロダクツの振興・発展を図ることを目的に、エコプロダクツに関わりの深い民間団体が連携して2004年7月に設立されました。

エコプロダクツ大賞推進協議会の事業内容は

- すぐれたエコプロダクツを顕彰する「エコプロダクツ大賞」の実施
- エコプロダクツ大賞を受賞した製品・サービスの普及促進を図るための広報活動
- その他、推進協議会の目的を達成するために必要な活動

エコプロダクツ大賞推進協議会の会員は

エコプロダクツ大賞推進協議会は、
推進協議会の事業目的に賛同する民間団体等で構成されます。
なお、2006年12月現在の会員は、
財団法人地球・人間環境フォーラム
社団法人産業環境管理協会
交通エコロジー・モビリティ財団
社団法人日本有機資源協会　の4団体です。

エコプロダクツ大賞推進協議会の役員構成は

会　長　近藤　次郎（東京大学名誉教授）
副会長　岡崎　洋（財団法人地球・人間環境フォーラム理事長）
副会長　南　直哉（社団法人産業環境管理協会会長）
副会長　山下　恭弘（交通エコロジー・モビリティ財団理事長）
副会長　熊澤　喜久雄（社団法人日本有機資源協会会長）　（順不同）

エコプロダクツ大賞推進協議会に対するお問い合わせは

エコプロダクツ大賞推進協議会事務局
財団法人地球・人間環境フォーラム内
〒105-0001　東京都港区虎ノ門1-18-1虎ノ門10森ビル
TEL. 03-3592-9735　FAX. 03-3592-9737
E-Mail : ecoproducts@nifty.com